

## 0. はじめに

10 回生の皆さん、はじめまして。来栖（くるす）です。今年度 10 回生の世界史 A を担当します！よろしくお祈りします。ISS にはそれなりの年数勤めていますが、ほとんどの方とははじめましてですね。2018 年の 7 月から出産と育児のため休職していました。4 月に皆さんとお会いすることを楽しみにしていたのですが、このような事態になってしまい残念です。世界史 A は過去の出来事を特定するだけではなく、それらのつながりや意義（意味）を深く追求していく面白い科目です。質問したり、されたり、一緒にアイデアを出し合ったり、一緒に考えたり…そんな授業を目指していきます。学校再開まではネット上でのやりとりになりますが、どんどん質問などしてくださいね！以下に休業中の学習方法についても示しますのでよく読んでください。

ちなみに、学年の副担任でもあります。そちらでもよろしくおねがいします。

## 1. 休業中の学習について

### (1) 準備が必要なもの

特にファイルやノートどちらからの指定はありませんが、A4 のプリントを中心に授業を進めていくことを前提にそれぞれが整理・学習しやすいものを準備してください。

### (2) スケジュール

休業中は毎火曜日に授業 2 時間分の課題プリントをアップし、毎金曜日に解説のスライドをアップします。プリントは、教科書をベースとした観点 A「知識・理解」のパートと、資料をベースとした観点 B「応用と分析」・観点 C「知識の統合」に基づくパートで構成されています。評価規準について<2. 学習内容と評価について>で詳しく説明しています。なお、原則一括した課題の提出は求めません。

4 月 14 日（火）	1. オリエンテーション資料（本資料）	2. 革命時代の開幕（教 P.80-81）*
4 月 21 日（火）	3. アメリカ独立革命（教 P.82-83）2 時間分	
4 月 24 日（金）	<解説スライド>アメリカ独立革命	
4 月 28 日（火）	4. フランス革命（教 P.84-85）2 時間分	
5 月 1 日（金）	<解説スライド>フランス革命	
5 月 5 日（火）予定	5. ナポレオン戦争（教 P.86-87）2 時間分 →学校再開後解説予定	

\*この範囲はそれ以降の前提となる位置づけなので解説はありません。

### (3) 質問したい時

休業明けの 5 月末には休業中の課題も範囲に含めた中間テストを実施する予定です。わからないことがあれば積極的に質問するようにしてください。✉kmarie@tguiss.jp

## 2. 学習内容と評価・評定について

### (1) ISS 世界史の各科目で学習する内容

	基礎・基本	応用（テーマ史などを含む）
前近代の世界史(原始・古代～18 世紀)	世界史 B(6 年・4 単位)	
近現代の世界史(18 世紀～現代)	<b>世界史 A (5 年・2 単位)</b>	世界史特講(6 年・2 単位)

① 「世界史 A」と「世界史 B」両方の科目で、「世界史 B」の内容（原始・古代～現代の世界史）を学習し

たことになる。

- ② 大学入試で「世界史 B」を利用する場合（文系ではほとんどが、理系でも国公立大はセンター試験で地

5段階評定（仮・年間）	5		4		3		2		1	
10点法評価（各学期）	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
規準 A～C の合計 (30 点満点)	30 29 28	27 26 25	24 23 22	21 20 19	18 17 16	15 14 13	12 11 10	9 8 7	6 5 4	3 2 1 0

歴 B 科目を指定する場合がある)

には、「世界史 B」だけでなく「世界史 A」（5 年）の授業で学習した内容が必要。

- ③ 「世界史特講」（6 年）では 5 年の「世界史 A」で学習した近現代の世界史について内容を深める。

## (2) 観点別評価と 10 点法評価・5 段階評定について

- ① 社会科（地歴・公民）で 5～6 年を対象に設定した 3 つの観点（規準 A～C）で評価する。

A 知識と理解（10 点）	期末テスト、学習の振り返り（まとめ）等から、歴史的知識やその知識の歴史的意義に関して理解および活用の程度を評価します。
B 応用と分析（10 点）	期末テスト、授業中の学習活動（プレゼンテーション、議論）とその振り返り（まとめ）、エッセイ・レポート課題等において、史料や歴史的なデータの分析に基づいて、歴史的な事象や流れ、概念を説明する力の程度を評価します。
C 知識の統合（10 点）	期末テスト、授業中の学習活動（プレゼンテーション、議論）とその振り返り（まとめ）、エッセイ・レポート課題等において、幅広い視野に立って歴史的な事象やデータ、概念を関連付ける力の程度を評価します。

- ② 年間の評定は、それぞれの観点（A～C）でどのレベルにあるのか、年間を通して総合的に判断し、年間の観点別評価（A～C）の合計から換算する。各観点を評価のポイントは以下の通り。

A 知識と理解（10 点）	さまざまな社会事象を歴史的に考察するために基礎となる知識（歴史的諸事象、人物、地名など）はあるか、それらの知識の歴史的意義（意味）を理解しているか。
B 応用と分析（10 点）	世界史の流れ・変化・因果関係・場所（位置）・社会の特徴などの歴史的概念を使っているか、年表、資料、地図、グラフ、表などの歴史的データを使っているか、客観的資料（データ）に基づいて分析しているか。
C 知識の統合（10 点）	概念を軸にここの学習事項や複数のデータ（情報）を関連付けられているか、特定の時代や地域だけでなく広い視野（世界史的な視野）からとらえられているか。

- ③ 観点別評価と 10 点法評価の換算は以下の通り。

### (3) テストについて

- ① 評価・評定の対象はテストが中心
- ② 各学期二回テストを実施（授業中に1回、期末テスト期間中に1回を予定）  
※今年度の中間テストの実施方法については現在検討中、5月末を予定。Aqq
- ③ 記述問題については授業で学習した内容について出題。例えば語句記述、選択（語句選択・正誤判定）、年代順並べ替えなど。
- ④ 選択式の問題については、授業で学習していない事項であっても、教科書や資料集に載っている内容であれば出題することがある。

### 3. 年間予定

#### 〈1学期〉

○近代市民革命・産業革命…アメリカ独立革命、フランス革命などの市民革命と、イギリスで起こった産業革命が国民国家形成にどのような影響を与えたのかを考えていきます。

○自由主義とナショナリズム…市民革命と産業革命によってどのようにヨーロッパで国民国家が形成されていったのか、それはアジアの諸地域にどのような影響を与えたのかを考えていきます。

#### 〈2学期〉

○第一次世界大戦と戦間期の世界…帝国主義出現の影響や総力戦としての第一次世界大戦の意義、および戦争が世界に与えた影響について考えます。

○戦間期…第一次世界大戦の反省のもと、平和をめぐる様々な試みがなされたにも関わらず、なぜそれが崩れていったのか考えていきます。

○第二次世界大戦と戦後の世界…第二次世界大戦はなぜ起こったのか、様々な立場にたって考えていきます。

#### 〈第3学期〉

○戦後の世界…国際連合はどのような原則に基づいて設立されたのか、冷戦とはどのような体制か、東西対立は具体的にどのようなかたちで世界秩序を規定したのか、考えていきます。

○第三世界の台頭と多極化…1950年代後半から1970年代にかけての世界の動きについて、冷戦の枠組みとは異なる動きがどのように現れ、それらがどのように世界に影響を与えたのか、考えていきます。

○冷戦の終結と21世紀の世界…1989年における体制転換の背景を理解するとともに、冷戦終結の意義と終結後の世界の課題について、様々な立場や視点から考えていきます。